

嵐山町立小中学校の
適正な規模等を
検討しています

▼問合せ 教育委員会事務局
☎62-0823

「子供たちのより良い教育環境を築くために」

義務教育における学校は、子供たちに「確かな学力」、「豊かな心」、「体力」等を確実に身に付けさせ、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことを目指す教育の場です。同時に地域で暮らす子供たちが一定の集団規模で活動することを通じて、社会性を身に付け、郷土愛を育て「生きる力」を育む場でもあります。

嵐山町においても、全国的な人口減少や少子高齢化の傾向と同様に、児童生徒数は年々減少を続け、学校の小規模化が深刻化している状況にあります。こうした児童生徒数の減少による教育環境や学校運営への影響、課題としての「適正規模・適正配置」について、教育委員会は平成29年8月に検討委員会を設置し、諮問をしました。

委員会の答申
委員会では、町立小中学校全体を再構築し、未来の嵐山町を背負っていく子供たちが通うことに誇りを持ち、保

護者が通わせたいと思える教育環境を整備することで、町全体の財産として「ふるさと」嵐山の誇りを育んでいくことが共通理念とされました。

教育環境とはどうあるべきか、時代そして社会が大きく変革されていく20年後の将来を見据えたさまざまな視点から検討を重ね、中間答申を経て、平成31年2月に審議を取りまとめた答申が教育委員会に対して示されました。

提言の概要

- (1) 適正規模
 - 小・中学校ともに、全学年でクラス替えのできる12〜18学級の規模
 - 中学校は、全教科に十分な教員を配置できる規模
 - ICT社会の到来等、教育内容の多様化や学校を取り巻く社会状況の変化に適応した、望ましい教育環境の整備や学習施設の充実を望みます。
- (2) 施設規模
 - 小・中学校が一体となった組織体制の下、学習環境の充実、ICT教育環境の整備、学校施設の機能向上等、教育環境に適した学校体制を望みます。
- (3) 小中連携（小中一貫教育）
 - 小・中学校が一体となった組織体制の下、学習環境の充実、ICT教育環境の整備、学校施設の機能向上等、教育環境に適した学校体制を望みます。
- (4) 学校統合
 - 子供たちの教育環境の整備を最優先課題として、全ての学校を統合対象とし、施設一体型の学校を「ふるさと」嵐山町のわが校として新設することを望みます。

- (5) 通学条件
 - より安全安心な通学方法を確保し、児童生徒の負担や安全安心等に配慮するため、スクールバス等の導入を必須と考えます。
- (6) 地域社会との連携と配慮
 - 学校は、町民が集まりやすい地域コミュニティの核であり、町の財産としての存在感をもつ「ふるさと」として、「ふるさと」嵐山町を支える人材の育成に寄与することが期待されます。
- (7) 跡地利用
 - 統合した後の学校施設については、教育施設としての活用方法にとらわれず、全町の最大限の有効活用ができるように検討を進める委員会等を設置することを望みます。

教育委員会の今後の取り組み

教育委員会では、現在、委員会の答申を踏まえて、学校の適正規模等について検討を行っています。今後は、検討結果を基本計画としてまとめ、保護者や地域の皆さんに適正規模等の必要性を説明し、理解を求めていきます。

今後、計画案がまとまり次第、ホームページ、説明会等を通じてお知らせします。

熱中症を予防しよう
熱中症の発生は7〜8月がピークです

▼問合せ 健康いきいき課
☎62-0716

熱中症予防の5つのポイント

1. 高齢者は上手にエアコンを
 - 高齢者や持病のある方は、暑さで徐々に体力が低下し、室内でも熱中症になることがあります。エアコンが苦手な方は、扇風機を使う、窓に遮光カーテンやすだれをかけるなど、室温が上がらないよう工夫しましょう。
 - 周りの方も、高齢者のいる部屋の温度に気を付けてください。
2. 暑くなる日は要注意
 - 熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。
 - 特に、梅雨明けで急に暑くなる日は、体が暑さに慣れていないため要注意です。また、夏の猛暑日も注意が必要です。湿度が高いと体からの汗の蒸発が防げられ、体温が上昇しやすくなってしまいます。猛暑の時は、エアコンの効いた室内など、早めに涼しいところに避難しましょう。
3. 水分をこまめに補給
 - のどが渇く前に水分を補給しましょう。汗には塩分が含まれています。大量の汗をかいたら、水分とともに塩分

も取りましょう。アルコールを含む飲料は、体内の水分を出してしまうため水分の補給にはならず、危険です。

また、高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくい傾向があります。こまめに水分を補給しましょう。

「おかしい」と思ったら病院へ

4. 「おかしい」と思ったら病院へ
 - 熱中症は、めまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状から、ひどいときには意識を失い、命が危険になることもあります。「おかしい」と思ったら、涼しいところに避難し、医療機関に相談しましょう。
 - ご近所で声を掛け合うなど、周りの人の体調にも気を配りましょう。
 - 行事の際は、気温や参加者の体調を考慮して熱中症を防ぎましょう。
5. 周りの人にも気配りを
 - ご近所で声を掛け合うなど、周りの人の体調にも気を配りましょう。
 - 行事の際は、気温や参加者の体調を考慮して熱中症を防ぎましょう。

肝炎フオロアップを行っています

▼問合せ 健康いきいき課
☎62-0716

肝炎ウイルス検診を受け、陽性の方で同意を得た方へ嵐山町より1年に1回程度体調の確認等を行っています。本事業を利用し、所定要件を満たしている方は、県が行っている肝炎初回精密検査・定期検査用助成の申請をすることが可能になります。詳細はお問い合わせください。

病院等では敷地内禁煙になります

▼問合せ 東松山保健所
☎22-0280

受動喫煙防止対策のため、7月1日に健康増進法の一部改正が施行されます。施行後は、第一種施設（学校・児童福祉施設、病院・診療所等）は敷地内禁煙になります。

ご理解・ご協力をお願いします。

蚊を介する感染症を予防しましょう

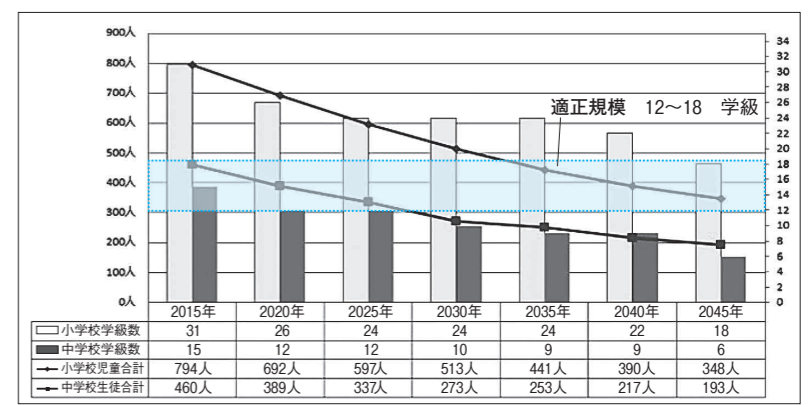
▼問合せ
▽蚊媒介の感染症に関すること
県 保健医療政策課
☎048-8330-3557

▽蚊の防除に関すること
県 生活衛生課
☎048-8330-3606

感染症流行地域へ渡航する場合には万全な対策を

これから蚊が発生する季節を迎えます。ウイルスなどの病原体に感染した人や動物の血を吸った蚊に刺されることで、さまざまな感染症にかかる恐れがあります。

○児童・生徒数 学級数の推計



○校舎の築年数

名称	構造主体名称(棟)	建築年度	建築年数	大規模改修(耐震)年度
菅谷小学校	鉄骨鉄筋コンクリート造	S47	46	H8
七郷小学校	鉄骨鉄筋コンクリート造	S49	44	H11
志賀小学校	鉄筋コンクリート造	S54	39	H16
菅谷中学校	鉄筋コンクリート造	S50	43	H12
玉ノ岡中学校	鉄筋コンクリート造	S59	34	-

感染症流行地域では、蚊に刺されないようにしよう

- もし蚊を媒介とする感染症の流行地域へ渡航される場合には、蚊に刺されないように万全な対策をしましょう。
- 屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されない対策をしましょう。
- 住まいの周囲に蚊を増やさないようにしよう
 - 蚊は、植木鉢の受け皿や屋外に放置された空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりで発生するので、日頃から住まいの周囲の水たまりをなくすように心がけましょう。
 - 蚊の活動は概ね10月下旬で終息します。これらの対策は10月下旬ころまでを目安に行いましょう。

国民健康保険の高齢受給者証を送付します

▼問合せ 町民課
☎62-2154

毎年、前年所得に基づき、負担割合が見直されます。新しい高齢受給者証は、7月下旬に送付します。

有効期限は、8月から令和2年7月末日までです。なお、国民健康保険加入者で70歳以上75歳未満の方が対象です。